

徳永文部科学省研究振興局長が長崎大学を訪問  
文部科学省新興・再興感染症拠点形成プログラム  
「新興・再興感染症に関するアジアリサーチフォーラム2007」



青木熱帯医学研究所長から説明を受ける徳永局長（左）



朝長医歯薬学総合研究科長から説明を受ける徳永局長（左）



相川医歯薬学総合研究科教授から説明を受ける徳永局長（右）



医学部・歯学部附属病院新病棟建設現場を視察する徳永局長（左）

1月15日（月）、16日（火）の両日、長崎市内のホテルにおいて「新興・再興感染症に関するアジアリサーチフォーラム2007」を文部科学省及び理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センターと熱帯医学研究所との共催で開催しました。

このフォーラムは、文部科学省新興・再興感染症研究拠点形成プログラムの一環として年1回開催され、プログラムに参加する国内外の研究拠点の関係者が集まり、今年は蚊媒介感染症についての特別セッションが設けられました。フォーラムでは文部科学省から徳永研究振興局長、篠崎研究振興戦略官等が出席され、主催者挨拶等をいただきました。

徳永研究振興局長は、フォーラムの合間を縫って16日（火）に長崎大学を訪問され、青木克己熱帯医学研究所長及び朝長万左男医歯薬学総合研究科長から、21世紀COE事業におけるこれまでの長崎大学の取り組みや成果、及びこれからの研究計画等について説明を受けたほか、附属図書館で幕末・明治期の貴重資料や現在建設中の医学部・歯学部附属病院新病棟建設現場などを視察されました。また、学長室において、齋藤学長、石井理事及び三宅理事と懇談を行いました。

（研究国際部学術国際課）